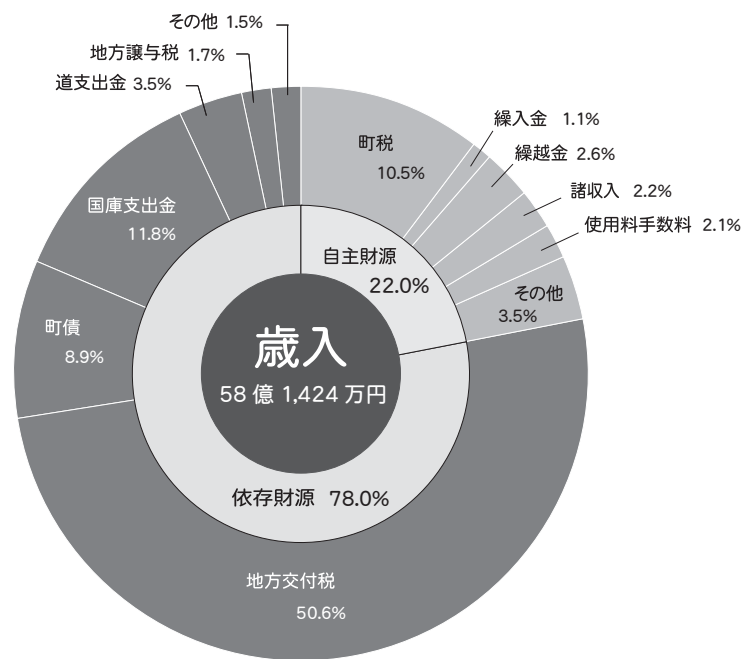


決算報告

平成21年度の一般会計と特別会計の決算が去る12月14日から開催された第4回定例町議会で認定されました。町民の皆さんが納めた税金や国・道からの補助金などは基盤整備や福祉、教育の充実など様々な分野で使われています。ここでは、まちの家計簿である平成21年度の決算状況についてお知らせいたします。

項目別内訳



区	分	決算額	前年比 (%)
自主財源	町税	6億958万円	△ 8.3
	繰入金	6,172万円	△ 65.6
	繰越金	1億5,017万円	19.9
	諸収入	1億2,819万円	35.7
	使用料手数料	1億2,164万円	△ 2.8
	その他(分担金・寄付金など)	2億686万円	△ 32.6
小計	12億7,816万円	△ 14.5	
依存財源	地方交付税	29億3,960万円	1.5
	町債	5億1,801万円	6.3
	国庫支出金	6億8,568万円	33.5
	道支出金	1億9,910万円	9.6
	地方譲与税	1億75万円	△ 6.4
	その他(地方消費税交付金など)	9,294万円	△ 4.8
小計	45億3,608万円	5.9	
合計	58億1,424万円	0.6	

町税の内訳		
税目	平成21年度	前年比 (%)
個人町民税	2億1,166万円	△ 8.8
法人町民税	3,576万円	△ 42.4
固定資産税	3億873万円	△ 2.0
軽自動車税	965万円	3.4
町たばこ税	2,686万円	△ 8.2
入湯税	1,692万円	1.8
合計	6億958万円	△ 8.3

一般会計決算状況

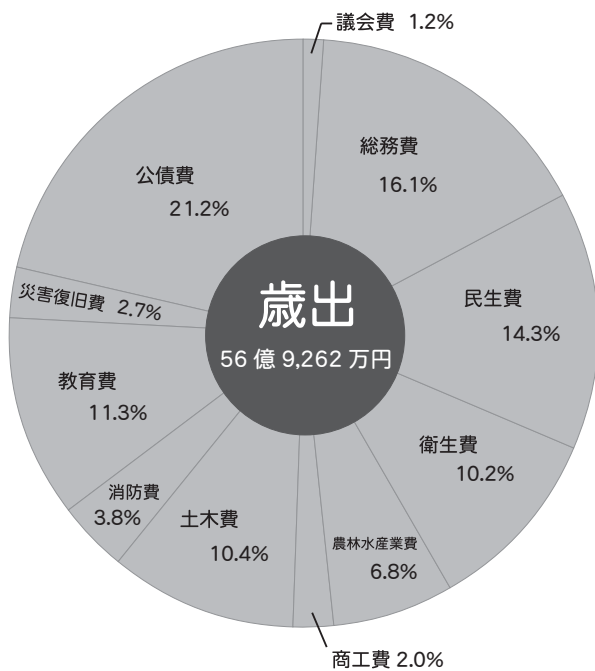
平成21年度一般会計予算編成においては、『行財政改革の推進』『定住・交流人口の拡大と地域連携』『保健・福祉・医療体制整備』の3項目を基本とし、『第5次新冠町総合計画の策定と推進』『協働のまちづくりの構築』『町民の声を取り入れた行財政改革』『保育所施設の整備と幼児教育の充実』『予防行政の積極的な推進と安全で安心できる生活基盤の整備』『定住・交流人口の増加対策』『一次産業の振興』『教育文化の振興』の具体的な8つの施策を掲げ予算措置をしました。

予算執行にあたっては、効率的な財政運営を目標に執り進めてきましたが、景気低迷による個人所得、法人所得の落ち込みから町税の課税総体が減少するなど、自主財源の確保には厳しい状況にあります。しかしながら、ここ数年安定的な地方交付税、また、経済対策などを目的とした国からの臨時交付金により、地域経済の活性化のみならず、ここ数年の懸案事項であった老朽施設の改修などに着手しております。

平成21年度の一般会計決算額は、歳入総額58億1,424万円、歳出総額56億9,262万円を執行し、歳入歳出差引は1億2,162万円です。このうち繰越明許費として1,200万円を翌年度へ繰越すべき財源として含んでいますので、この分を差し引いた平成21年度の実質収支額は1億962万円となります。

平成21年度の歳入決算は58億1,424万円

一般会計



区	分	決算額	前年比 (%)
議会費		6,653万円	1.0
総務費		9億1,712万円	0.7
民生費		8億1,538万円	6.1
衛生費		5億8,049万円	12.3
農林水産業費		3億8,821万円	1.3
商工費		1億1,460万円	68.0
土木費		5億9,072万円	△ 1.3
消防費		2億1,557万円	4.2
教育費		6億4,519万円	15.8
災害復旧費		1億5,411万円	△ 47.6
公債費		12億470万円	△ 4.3
合計		56億9,262万円	1.1

平成21年度の歳出決算額は56億9,262万円、前年度決算額は56億9,262万円、前年度決算額と比較して6,332万円、1.1%の増加となりました。

前年度と比較して、教育費においてレ・コード館整備事業(冷暖房配管改修)、体育施設整備事業(町民グラウンド改修工事)、衛生費では霊葬場管理事業(霊葬場改修工事)、民生費では新冠老人憩の家運営費(給水給湯設備及び内部改修工事)において増額しています。また、減額した主なものは、災害復旧費等です。

決算額が減額した項目は繰入金65.6%の減、次いで財産収入の36.8%の減等となっています。繰入金の減額は、目的基金以外からの繰入を実施しなかったことによるものです。財産収入については、学校跡施設の売却が2校となったことによるものです。

また、町税の収入未済額は1億1,424万円、不納欠損処分として整理したものは579万円で、これら収入未済額の合計額は1億2,003万円の決算となり、前年度に比較して942万円、8.5%増加しました。

歳出

平成21年度の歳出決算額は56億9,262万円、前年度決算額は56億9,262万円、前年度決算額と比較して6,332万円、1.1%の増加となりました。

前年度と比較して、教育費においてレ・コード館整備事業(冷暖房配管改修)、体育施設整備事業(町民グラウンド改修工事)、衛生費では霊葬場管理事業(霊葬場改修工事)、民生費では新冠老人憩の家運営費(給水給湯設備及び内部改修工事)において増額しています。また、減額した主なものは、災害復旧費等です。

主な事務事業の決算内訳

●総務費	
定住移住促進支援事業	943万円
●民生費	
高齢者軽度生活援助事業	1,168万円
●衛生費	
伝染病予防接種事業	735万円
●農林水産業費	
有害鳥獣駆除対策事業	452万円
●土木費	
大狩部本郷井旗線道路改良舗装工事	2,581万円
●教育費	
レ・コード館整備事業	9,107万円
体育施設整備事業	4,973万円

特別会計決算

特別会計	歳入	歳出
簡易水道事業特別会計	2億9,500万円	2億9,342万円
下水道事業特別会計	2億539万円	2億296万円
国民健康保険特別会計	8億2,897万円	8億38万円
後期高齢者医療特別会計	5,018万円	5,006万円
老人保健特別会計	438万円	430万円
介護サービス特別会計	3億666万円	3億248万円
合計	16億9,058万円	16億5,360万円
	差引繰越額	3,698万円

国民健康保険	事業収益(収入)	4億2,503万円
病院会計	事業費用(支出)	4億3,519万円

平成21年度

患者取扱状況	1日平均患者数	患者延べ数	前年度比	
入院	患者	延べ	増減	増減率%
入院	17.9	6,516	△ 5,348	△ 45.1
内科・小児科	17.4	6,349	△ 4,421	△ 41.0
整形外科	0.5	167	△ 927	△ 84.7
外来	105.9	25,634	△ 3,897	△ 13.2
内科・小児科	87.5	21,176	2,218	11.7
整形外科	18.4	4,458	△ 6,115	△ 57.8
合計	123.8	32,150	△ 9,245	△ 22.3